平成28年第2回
美唄市議会定例会会議録
平成28年6月24日（金曜日）
午前10時00分 開議

の実現をめざす教職員定数改善に向けた意見書

- 第6 意見書案第4号 TPP協定の拙速な国会批准をしないことを求める意見書
- 第7 意見書案第5号 若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書

◎議事日程

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 委員長報告
- 1 議案第52号 北海道市町村職員退職手当組合規約の一部変更の件（総務・文教）
- 2 議案第53号 財産購入の件（小中学校コンピュータ機器）（総務・文教）
- 3 議案第54号 スポーツ健康都市宣言の件（総務・文教）
- 4 議案第55号 美唄市税条例の一部改正の件（産業・厚生）
- 5 議案第56号 美唄市手数料徴収条例の一部改正の件（産業・厚生）
- 6 請願第1号 若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める請願（産業・厚生）
- 7 議案第57号 平成28年度美唄市一般会計補正予算（第2号）（予算審査特別）
- 第3 意見書案第1号 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 第4 意見書案第2号 療養病床の今後の在り方について慎重な検討を求める意見書
- 第5 意見書案第3号 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、子どもの貧困解消など教育予算確保・拡充と就学保障の充実、「30人以下学級」

◎出席議員（14名）

議長	小 関 勝 教 君
副議長	土 井 敏 興 君
1 番	森 川 明 君
2 番	吉 岡 建二郎 君
3 番	松 山 教 宗 君
4 番	川 上 美 樹 君
5 番	楠 徹 也 君
6 番	本 郷 幸 治 君
7 番	吉 岡 文 子 君
8 番	山 崎 一 広 君
9 番	桜 井 龍 雄 君
10 番	谷 村 知 重 君
11 番	丸 山 文 靖 君
13 番	金 子 義 彦 君

◎出席説明員

市 長	高 橋 幹 夫 君
副 市 長	藤 井 英 昭 君
総 務 部 長	中 平 匡 司 君
市 民 部 長	村 谷 宗 義 君
保健福祉部長兼福祉事務所長	千 葉 一 夫 君
経 済 部 長	市 川 厚 記 君
都 市 整 備 部 長	本 田 弘 明 君
市立美唄病院事務局長	小 橋 一 夫 君

消 防 長 後 藤 樹 人 君
総務部総務課長 村 上 孝 徳 君
総務課長補佐 置 田 孝 浩 君

教育委員会委員長 高 橋 泰 浄 君
教 育 長 早 瀬 公 平 君
教 育 部 長 伊 藤 敦 史 君

選挙管理委員会委員長 竹 山 哲 郎 君
選挙管理委員会事務局長 村 上 孝 徳 君

農業委員会会長 小 川 俊 美 君
農業委員会事務局長 吉 村 清 孝 君

監 査 委 員 星 野 恒 徳 君
監査事務局長 渋谷 裕 子 君

◎事務局職員出席者

事 務 局 長 三 上 忠 君
総 務 係 長 三 輪 淳 志 君

午前10時00分 開議

●議長小関勝教君 これより、本日の会議を聞きます。

●議長小関勝教君 日程の第1、会議録署名議員を指名いたします。

7番 吉岡文子議員

8番 山崎一広議員

を指名いたします。

●議長小関勝教君 次に日程の第2、委員長報告に入ります。

順序1、議案第52号北海道市町村職員退職

手当組合規約の一部変更の件ないし順序7、議案第57号平成28年度美唄市一般会計補正予算（第2号）の以上7件を一括議題といたします。

本件について、それぞれ委員長の報告を求めます。

初めに、議案第52号ないし議案第54号の以上3件について、桜井総務・文教委員長。

●総務・文教委員長桜井龍雄議員（登壇） ただいま議題となりました、議案第52号北海道市町村職員退職手当組合規約の一部変更の件、議案第53号財産購入の件（小中学校コンピュータ機器）、議案第54号スポーツ健康都市宣言の件の以上3件について、総務・文教委員会の審査の経過並びに結果を一括ご報告申し上げます。

経過といたしまして、6月21日、委員会を招集して審査いたしました。

初めに、議案第53号における質疑・答弁の主なものを申し上げます。

パソコンには、どのようなアプリケーションソフトがインストールされるのか、また、ICTを活用した指導ができる教員の割合について、との質疑に対し、児童生徒用のパソコンには、オフィスは標準装備されているが、その他は、特にインストールされているものはない。なお、パソコン教室用には、集団授業ができるスカイメニューという授業支援、学習活動支援ができるソフトフェアを導入することとしている。

また、ICTを活用した指導ができる教員の割合は把握していないが、本市においては、教員1人に対し、1台のパソコンを配置していることから、職場研修などを通じて、教員

の授業力向上に取り組んでいきたいと考えている。との答弁がありました。

次に、議案第 54 号における質疑・答弁の主なものを申し上げます。

宣言文の中の「運動」と「スポーツ」の違いについては、どのような形で整理をしたのか、また、この宣言が制定された後に、子どもたちが利用する体育施設等の利用料金を無料にするなどの考えはあるのか、との質疑に対し、「運動」については、ウォーキングや、体操など「端的に体を動かす」ということで定義しており、「スポーツ」については、「競技性のあるもの」ということで定義している。

また、小中学生の施設利用については、これまでも市民体育祭の時や、サン・スポーツランドのオープンにあわせて無料開放するなど、利用促進を図ってきたが、この宣言が制定されれば、宣言日に無料開放することも考えている。との答弁がありました。

なお、議案第 52 号についての質疑はありませんでした。

結果といたしまして、議案第 52 号ないし議案第 54 号の以上 3 件につきましては、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本委員会の決定どおり、ご承認いただきますようお願い申し上げます。報告を終わります。

●議長小関勝教君 次に、議案第 55 号ないし請願第 1 号の以上 3 件について、谷村産業・厚生委員長。

●産業・厚生委員長谷村知重議員（登壇） 初めに、ただいま議題となりました、議案第 55 号美唄市税条例の一部改正の件及び議案第 56 号美唄市手数料徴収条例の一部改正の件の以

上 2 件について、産業・厚生委員会の審査の経過並びに結果をご報告申し上げます。

経過といたしまして、6 月 21 日、委員会を招集して審査いたしました。

初めに、議案第 55 号における質疑・答弁のうち、主なものを申し上げます。

今回の課税限度額の引き上げによる、税収への影響と対象世帯について、との質疑に対し、国民健康保険税の基礎分と後期高齢者支援金等の限度額の引き上げのほか、軽減世帯に対する軽減額の引き上げもあり、554 万円程度の税収増を見込んでいる。

また、影響世帯数については、医療分が 183 世帯、支援分が 130 世帯の計 313 世帯となっており、5 割軽減が 29 世帯で、2 割軽減が 5 世帯と試算している。との答弁がありました。

次に、議案第 56 号における質疑・答弁のうち、主なものを申し上げます。

長期優良住宅の定義と、これまでの申請実績について、との質疑に対し、長期優良住宅とは、良質な住宅で、長期にわたり良好な状態で使用でき、構造躯体等の劣化対策、耐震性、維持管理・更新の容易性、可変性、高齢者等対策、省エネルギー対策、住環境の 7 項目すべてを満たした住宅のことである。

また、申請実績については、申請受付を開始した平成 21 年から現在まで、24 件となっている。との答弁がありました。

結果といたしまして、議案第 55 号につきましては、ご異議がありましたので、起立採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

また、議案第 56 号につきましては、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、請願第1号若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める請願について、本委員会の審査の経過並びに結果をご報告申し上げます。

本件は、先の第1回定例会において付託されたもので、継続審査となっているものであります。

その後の経過といたしまして、6月14日に委員会を招集し、審査いたしました。

審査における委員からの意見としては、高齢者人口が増え、高齢化率が40%近くまでに達している本市においても、年金の支給額が年々下がってきている状況は、経済並びに行財政にも大きく関わってくる問題だと考えている。こういった本市の現状も踏まえ、願意妥当とするべきだと考えている。との意見がありました。

結果といたしまして、請願第1号につきましては、採択すべきものとし、意見としては「願意妥当」と決定いたしました。

本委員会の決定どおり、ご承認いただきますようお願い申し上げます。報告を終わります。

●議長小関勝教君 次に、議案第57号について、桜井予算審査特別委員長。

●予算審査特別委員長桜井龍雄議員（登壇）

ただいま議題となりました議案第57号平成28年度一般会計補正予算（第2号）について、予算審査特別委員会の審査の経過並びに結果をご報告申し上げます。

経過といたしまして、6月22日、委員会を招集して審査いたしました。

議案第57号の質疑・答弁のうち、主なものについて申し上げます。

初めに、地域福祉会館管理運営事業について、光珠内福祉会館以外の会館における被害状況と今後の対策について、との質疑に対し、ほかの14会館では、雪害による破損などはなかった。また、今後については、軒下の除雪を行うとともに、会館の屋根の状況を随時確認するなど、指定管理者と連携し、このような事態が起こらないよう対応に努めたい。との答弁。

次に、恵風園管理事務について、寄附金を活用して備品等の整備を行うとのことだが、この寄附金はどのような形でいただいたものなのか。との質疑に対し、昨年まで入所されていた方の身元引受人から、恵風園のために使用してほしいということで、100万円の寄附をいただいた。との答弁。

次に、空知団地企業誘致推進事業について、地域資源を活かした社員研修コンテンツの整備とあるが、昨年の研修実績について、との質疑に対し、雪中研修として、東京から4社5名の方をモニターとして招き、東明公園での屋外キャンプや貞広農場での雪下貯蔵のじゃがいも掘り、アルテピアッツァ美唄の見学などを行い好評を得た。との答弁。

次に、海外向けWDCプロモーション事業について、現在、美唄市に来てもらえるデータセンター事業者のあてはあるのか、との質疑に対し、海外事業者については、これまで具体的な商談には至っていないが、昨年、アメリカのデータセンター事業者から問い合わせがあり、道庁と連携してプレゼンテーションをしている。

また、PRのため、海外のデータセンター事業関連のホームページ等へ、当市の取り組

みを掲載したことにより、現在、数件の問い合わせをいただいている。との答弁。

次に、国内外観光客誘致対策事業について、地域資源を活用したDMO創設にあたり、庁内各部署や庁外関係機関との連携はしっかりととれているのか、との質疑に対し、庁内の部署間での連携はもちろん、美唄観光物産協会や美唄商工会議所などとも、創設に向け合意しているところである。との答弁。

次に、公民館・市民会館整備事業について、アスベストに関して、過去の調査で問題ないところでも、今回のように使用されていた施設もあることから、市内のほかの施設について、アスベストの調査をする予定はあるのか、また、今後、アスベストの除去が必要な施設があった場合、アスベスト除去費用について、国や北海道へ補助金の交付を求めていくべきではないか、との質疑に対し、アスベストの調査の必要性については、市長部局と協議をしていきたいと考えている。また、国や北海道への補助金要望についても、市長部局と確認をしていきたいと考えている。との答弁がありました。

結果といたしまして、議案第 57 号は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本委員会の決定どおり、ご承認をいただきますようお願い申し上げます。報告を終わります。

●議長小関勝教君 これより議案第 52 号ないし議案第 54 号の以上 3 件について、一括質疑を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これをもって一括質疑を終結いたします。

これより一括討論を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これをもって一括討論を終結いたします。

これより一括採決いたします。

本件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議なしと認めます。

よって、**議案第 52 号北海道市町村職員退職手当組合格約の一部変更の件ないし議案第 54 号スポーツ健康都市宣言の件**の以上 3 件は、委員長報告のとおり**決定**されました。

これより、議案第 55 号について質疑を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これをもって質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

2 番、吉岡建二郎議員。

●2 番吉岡建二郎議員(登壇) ただいま議題となりました議案第 55 号美唄市税条例の一部改正の件について、反対の立場から討論いたします。

議案第 55 号は、国民健康保険税の課税額の上限引き上げが行われるものです。最高限度額を基礎賦課限度額で 2 万円、後期高齢者支援金等賦課限度額で 2 万円、合わせて 4 万円もの引き上げとなります。この値上げにより、313 世帯が引き上げられ、その金額は、626 万円の増額となります。

引き上げ分を低所得者に回すとしていますが、国民健康保険加入者は、そもそも低所得者が多く、高額所得者は、ごくわずかしかありません。さらに今回、低所得者の軽減に充てられるのは、5 割軽減、2 割軽減の改善分ですが、軽減額は 71 万 6,000 円でしかあり

ません。

安心して医療を受けてもらうためには、市民負担の軽減こそが必要であり、値上げのこの議案には反対するものです。

以上、議案第 55 号への反対討論といたします。

●議長小関勝教君 これをもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。

ご異議がありますので、起立により採決いたします。

本件に対する委員長報告は、原案可決であります。

本件は、委員長報告のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

(賛成者起立)

起立多数であります。

よって、**議案第 55 号美唄市税条例の一部改正の件**は、委員長報告のとおり**決定**されました。

これより、議案第 56 号及び請願第 1 号の以上 2 件について、一括質疑を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これをもって一括質疑を終結いたします。

これより一括討論を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これをもって一括討論を終結いたします。

これより一括採決いたします。

本件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議なしと認めます。

よって、**議案第 56 号美唄市手数料徴収条例の一部改正の件及び請願第 1 号若者も高齢者**

も安心できる年金制度の実現を求める請願の以上 2 件は、委員長報告のとおり**決定**されました。

これより、議案第 57 号について質疑を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これをもって質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これをもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。

本件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議なしと認めます。

よって、**議案第 57 号平成 28 年度美唄市一般会計補正予算(第 2 号)**は、委員長報告のとおり**決定**されました。

●議長小関勝教君 次に日程の第 3、意見書案第 1 号地方財政の充実・強化を求める意見書ないし日程の第 7、意見書案第 5 号若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書の以上 5 件を一括議題といたします。

本件に関し、それぞれ提案理由の説明を求めます。

初めに、意見書案第 1 号及び意見書案第 2 号の以上 2 件について、4 番、川上美樹議員。

●4 番川上美樹議員(登壇) ただいま議題となりました、意見書案第 1 号及び意見書案第 2 号につきまして、一括して案文を朗読し、提案理由の説明にかえさせていただきます。

地方財政の充実・強化を求める意見書

地方自治体は、子育て支援、医療、介護などの社会保障、環境対策、地域交通の維持など、美唄市においてもその果たす役割が拡大していることに加え、加速する人口減少問題への対応など、新たな政策課題に直面しており、こうした課題に適切に対応していくためには、財政需要を的確に見積もり、これらに見合う地方交付税及び一般財源総額を確保することが極めて重要であります。

「経済財政運営と改革の基本方針 2015」においては、平成 30 年度のプライマリーバランスの黒字化を図るため、社会保障と地方行財政改革等が重点分野とされ、国の取り組みと基調を合わせた歳出改革を行うこととしています。

地方自治体が、今後も質の高い公共サービスを維持するためには、国が十分な協議を保障した上で、地方財政計画、地方税、地方交付税のあり方を決定する必要があります。

よって、国においては、地方自治体の安定的な行財政運営を実現するため、平成 29 年度の地方財政計画、地方交付税及び一般財源総額の拡大に向けて、次の事項について適切な措置を講ずるよう強く要望します。

記

1. 社会保障、環境対策、地域交通対策、人口減少対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握するとともに、歳出特別枠の確保などにより、地方の安定的な財政運営に必要な一般財源の総額を確保し、支援する仕組みの検討に当たっては、地方自治体の歳出削減の取り組みや、行財政改革の成果を考慮すること。

2. 子ども・子育て支援新制度、地域医療構想の策定、地域包括ケアシステム、生活困窮者自立支援、介護保険制度や国民健康保険制度の見直しなど、急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための予算の確保及び所要の地方財政支援措置を講ずること。

3. 減税を検討する際には、地方財政の運営に影響を与えないよう、代替財源を確保し、償却資産に係る固定資産税やゴルフ場利用税については、市町村の財政運営に不可欠な税であるため、現行制度を堅持すること。

4. 地方交付税の財政調整機能の強化を図るため、留保財源率を見直すこと。また、人口減少が地域間のさらなる財政力格差の拡大を招かないよう、地方交付税の算定方法について、面積的要素の拡充や国勢調査人口が急減する自治体等に配慮した段階補正の強化などの対策を講ずること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により、意見書を提出します。

平成 28 年 6 月 24 日

北海道美唄市議会

療養病床の今後の在り方について 慎重な検討を求める意見書

現在、地域医療構想の策定など平成 37 年（2025 年）に向けた医療・介護提供体制の一体的な整備が進められています。

特に、介護療養型医療施設及び医療療養病床の一部については、平成 29 年度末にその設置期限を迎えることになっており、現在、社会保障審議会の療養病床の在り方等に関する特別部会を設置し、慢性期の医療・介護ニ一

ズに対応するための療養病床の新たな類型である「医療内包型」及び「医療外付け型」の2種類に再編することを基本に審議が始められ年内のとりまとめを目指すとしています。

少子高齢化の進展が著しい美唄市にあっては、市立病院において医療型療養病床 45 床、民間医療機関において介護型療養病床 119 床、あわせて 164 床が運営されており、家族が自宅で介護できず施設にも入れない医療・介護ニーズを併せ持つ高齢者の療養の場として極めて重要な役割を担っています。

よって、国においては、療養病床の今後の在り方について、長期療養を必要とする高齢者の行き場を失う事態を招くことがないように、次の事項について慎重な検討を行なうよう強く要望します。

記

1. 検討にあたっては、医療・介護関係者間の合意を得ながら丁寧かつ円滑に進めるべきであり、現行制度の再延長を第一の選択肢とすること。
2. 新類型への移行については、十分な経過措置を設けること。
3. 新類型の費用負担については、介護保険及び医療保険の適用ならびに患者負担における低所得者対策などに支障が生じないように十分配慮すること。
4. 新類型の施設設備については基金の活用など十分な財政措置を講じること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により、意見書を提出します。

平成 28 年 6 月 24 日

北海道美唄市議会

なお、提出先は、それぞれ案文記載のとおりでありますので、原案のとおりご承認いただきますようお願い申し上げます。提案理由の説明を終わらせていただきます。

●議長小関勝教君 次に、意見書案第 3 号及び意見書案第 4 号の以上 2 件について、2 番、吉岡建二郎議員。

●2 番吉岡建二郎議員（登壇） ただいま議題となりました、意見書案第 3 号及び意見書案第 4 号につきまして、一括して案文を朗読し、提案理由の説明にかえさせていただきます。

義務教育費国庫負担制度堅持・負担率 1/2 への復元、子どもの貧困解消など教育予算確保・拡充と就学保障の充実、「30 人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善に向けた意見書

日本の教育にかかわる公財政教育支出は対 GDP 比において OECD 加盟 34 カ国の平均が 4.7% に対し 3.5% と大きく下回り、加盟国中、最下位となっています。その一方で、子ども一人当たりの教育支出における私費負担率は依然として高い水準にあります。このことは、日本の教育にかかわる公的支出の貧困さを証明するものです。また、厚生労働省から発表された 12 年度の国民生活基礎調査によると、子どもの貧困率は 16.3% と約 6 人に 1 人、ひとり親家庭にいたっては 54.6% と 2 人に 1 人となっています。このような状況の中、子どもたちの「貧困と格差」は一層拡大し、経済的理由によって進学・就学を断念するなど「教育の機会均等」は崩され学習権

を含む子どもの人権も保障されない状況となっています。教育現場では、給食費、修学旅行費、テストやドリルなどをはじめとする教材費などの保護者負担も依然として生じています。地方交付税措置されている教材費や図書費についても都道府県や市町村によって、その措置に格差が生じています。また、義務教育費国庫負担率が1/2から1/3になったことで、定数内期限付採用や非常勤教職員が増加し、教職員定数の未充足などの状況も顕著になっています。

2016年度文部科学省予算では、財源不足などを理由に、義務標準法改正を伴う教職員定数改善は見送られました。子どもたちに行き届いた教育を保障するためには、教職員定数の拡充は喫緊の課題であり、義務標準法の改正を伴う「教職員定数の改善」と「学級基準編成の制度改正」及び「30人以下学級」の早期実現が不可欠です。美唄市においても、子どもの数の比較的多い地域においては35人以上の学級が発生しています。

子どもたちは住む地域や環境に関係なく平等に教育を受ける権利を有しています。その保障のためには、国による教育予算の確保と拡充が必要です。これらのことから、国においては義務教育費無償、義務教育費国庫負担制度の堅持、当面負担率1/2への復元など、以下の項目について地方自治法第99条にもとづき、教育予算の確保・拡充、就学保障に充実をはかるよう要望します。

記

1. 国の責務である教育の機会均等・水準の最低保障を担保するため、義務教育費が無償となるよう、また、義務教育費国庫負担制度

の堅持、当面、義務教育費国庫負担率を1/2に復元すること。

2. 「30人以下学級」の早期実現にむけて、小学校1年生～中学校3年生の学級編成標準を順次改定すること。また、住む地域に関係なく子どもたちの教育を保障するため、義務標準法改正を伴う教職員定数の早期実現、及び、必要な予算の確保・拡充をはかること。

3. 子どもたちや学校・地域の特性に合った教育環境を整備し、充実した教育活動を推進するために、教頭・養護教諭・事務職員の全校配置を実現すること。

4. 給食費、修学旅行費、教材費など保護者負担の解消、修学保証の充実、図書費など国の責任において教育予算の十分な確保、拡充を行うこと。

5. 経済的な理由により子どもたちが進学・就学を断念するなどの「子どもの貧困」を解消するため国の責任において、就学援助制度の堅持、教育予算の十分な確保・拡充するとともに返還義務を伴わない給付型奨学金などの拡充を行うこと。

6. 高校授業料無償制度への所得制限を撤回すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

平成28年6月24日

北海道美唄市議会

T P P協定の拙速な国会批准をしないことを求める意見書

T P P（環太平洋経済連携協定）は、重要5品目の3割の関税を撤廃するほか、米の輸

入枠の拡大、牛、豚肉での関税引き下げなどの大幅な譲歩を行おうとしています。くわえて、その他農産品では98%の関税撤廃を合意しており、北海道の農業生産にとって重要な環境が懸念されます。

通常国会の審議の中からも①T P P協定には関税の撤廃・削減をしない「除外」規定が一切存在しないこと、②付属書で日本だけが農産物輸出大国5カ国との間でさらなる関税撤廃に向けた協議を特別に義務付けされていること、③一切手をつけさせなかったという155の細目も、品目で見れば、いずれも協議の対象という事実を政府は認めざるをえませんでした。

これらの内容が「農林水産分野の重要5品目などの聖域の確保を最優先し、それが確保できないと判断した場合は、脱退も辞さない」とすること(2013年4月18日、19日 衆参農林水産委員会)とした国会決議に違反していると言わざるをえません。

よって、国会決議との整合性はもちろんのこと、交渉過程を含めた全容の情報を明らかにするとともに、拙速なT P P承認の批准、並びに関連法案の採決をしないことを強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

平成28年6月24日

北海道美唄市議会

なお、提出先はそれぞれ案文記載のとおりでありますので、原案のとおりご承認いただきますようお願い申し上げます。提案理由の説明を終わらせていただきます。

●議長小関勝教君 次に、意見書案第5号について、10番、谷村知重議員。

●10番谷村知重議員(登壇) ただいま議題となりました、意見書案第5号につきまして、案文を朗読し、提案理由の説明にかえさせていただきます。

若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書

厚生労働省は、全国消費者物価の上昇を受けて、昨年の4月から年金を0.9%増額するよう改定しました。これは、本来なら物価上昇にリンクして2.7%増額すべきところを2004年の「年金法」の改定を受け、賃金上昇率2.3%から年金の「特例水準」解消のためとする0.5%を減じた上に、「マクロ経済スライド」の初の適用で、さらに0.9%を減額し、結果として0.9%の増額改定にとどめたことによるものです。

本市における高齢化率は39%となっており、物価上昇や医療・介護保険料等の負担が増加している中、年金の実質的な削減は、高齢者の生活に大きな打撃を与えています。

また、年金の削減は、高齢者だけの問題ではなく、低賃金の非正規雇用で働く若者や女性など「将来の年金生活者」にとっても大変深刻な問題です。

年金は、そのほとんどが消費に回り、年金の引き下げが地域経済と地方財政に与える影響は大きく、自治体の行政サービスにも直結する問題となっています。

よって、国においては、以下の事項を実現するよう強く要望します。

記

1. 年金を毎年引き下げる「マクロ経済スライド」を廃止すること。
2. 年金支給開始年齢はこれ以上引き上げないこと。
3. 「最低保障年金制度」を早期に実現すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成28年6月24日

北海道美唄市議会

なお、提出先は案文記載のとおりでありますので、原案のとおりご承認いただきますようお願い申し上げます。提案理由の説明を終わらせていただきます。

●議長小関勝教君 お諮りいたします。

ただいま提案理由の説明がありました意見書案第1号ないし意見書案第5号の以上5件については、別にご発言もないようですので、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議なしと認めます。

よって、**意見書案第1号地方財政の充実・強化を求める意見書ないし意見書案第5号若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書**の以上5件は、原案のとおり**可決**されました。

●議長小関勝教君 以上をもちまして、今期

定例会に付託されました各案件は、全部議了いたしました。

これをもって、平成28年第2回美唄市議会定例会は閉会いたします。

午前10時40分 閉会